

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.23 ～

「株式会社豊和製作所」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見ても話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。

町長の見て・聞いて・話して

第23回の事業所訪問は、12月18日に株式会社豊和製作所を訪問し、笠原秀一社長にお話を伺いました。

株式会社豊和製作所は、様々な金属素材の加工一式を行う製缶工場として、昭和45年(1970年)に小鹿野町長留の養蚕工場の建物を改修して創業されました。

工場内には、顧客からの依頼に併せた精密な金属加工ができるよう、レーザー加工機や溶接ロボット、塗装ブースなどの設備が完備されておりました。

また、機械だけでは難しい細部の加工は、様々な工具を使い熟練した職人の技術により、少量多品種な金属加工製品を仕上げておりました。

主に、製造している金属加工製品は、大型重機の部品が大半を占めており、ラジエーターファンのカバーなど大型な部材から部品と部品をつなぐブラケット・ジョイントなど多種にわたっております。

車の部品とは違い、大型重機の部品は、モデルチェンジや排ガス規制、機械の自動化などにより部品の変更が多く、大量生産や見込み生産が難しく、機械設備の自動化がなかなかできないため、熟練の職人によって、一つひ



製品の説明を受ける森町長

とつ丁寧に加工が施された部品の種類は、週に500種類を超えるとのことです。

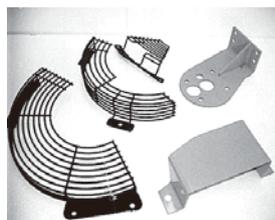
こうした熟練の職人と会社が一致団結して、独自の技術を磨き、品質管理と納期管理を徹底して行うことで、会社の信頼を集めている企業であると感じました。

わが社の主力製品

精密な金属レーザー加工機と熟練の職人の

技術により、板金、製缶、溶接に至るまで、社内一貫作業することで、短納期、低コスト、高品質な製品をお客様のニーズに併せてご提案することで信頼を得ています。また、協力工場により、金型からの一貫生産やメッキ処理まで行っております。

ここに自信あり



建設機械用部品

平成18年(2006年)には、品質・環境管理に配慮した会社経営が認められ、エコステージの認証を受けております。

経営とリンクした環境マネジメントシステムの構築を図るとともに、経営理念の一つ、「品質を誇る

企業」として、品質の管理に目と心を配り、注意と創意、小さな知恵を積み重ね大きな改善を目指して鋭意努力しております。



笠原社長(左)

会社概要

代表者 代表取締役 笠原秀一
従業員数 23名
創業 1970年
所在地 小鹿野町長留804
電話 0494-75-1626